

報道機関各位

第 5 回多職種参加型事例検討会を開催します

少子高齢化と人口減少に対応する地域包括ケアシステム構築に向け、医療と介護の連携による在宅療養支援が強く求められています。

箕輪町の高齢者が安心して住み慣れた地域に暮らせるために、医療・介護関係者間における顔の見える関係づくりを目的として多職種参加型事例検討会を開催します。

日 時

平成 30 年 2 月 6 日（火）18 時 45 分から 20 時 30 分頃まで

場 所

箕輪町文化センター ホール

その他

- ・医療関係者、介護関係者等へ事前案内をし、約 100 人の申し込みがありました。
- ・事例検討会への参加については締め切らせていただきました。
- ・地域包括ケアシステム構築のために、介護保険地域支援事業に医療介護連携の推進が位置付けられ、平成 30 年度までに全市区町村が取り組むべきとされています。このことについて箕輪町では各関係機関の顔の見える関係づくりを目的として平成 27 年 10 月から多職種参加型事例検討会を開催しています。

添付資料 有 無

福祉課 高齢者福祉係
(課長) 安積 真人 (担当) 鈴木 道代、北澤真由美
電 話 : 0 2 6 5 - 7 9 - 3 1 1 1 (内線) 1 5 6
F A X : 0 2 6 5 - 7 9 - 0 2 3 0
E-mail : fukushi@town.minowa.lg.jp



第5回 多職種参加型 事例検討会

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らすことを支援するために、医療や介護がそれぞれの敷居を超えて、連携することが求められています！

医療も介護も分け隔てなく、専門職としてどのような支援ができるのか、それぞれの役割を確認しましょう！

日時：平成 30 年 2 月 6 日(火) 18:45 から 20:30

◆場所：箕輪町文化センター ホール ◆参加費：無料

◆申し込み：裏面申し込み書を下記まで 1月26日までにFAXしてください。

事例検討会に参加してみませんか？

具体的な事例を取扱い、
自立支援と在宅療養の可能
性を検討します！

■事例■

身体症状を受容できない70代男性への支援

70代男性。3人暮らし。

良性腫瘍を発症後不安でいくつもの医療機関を受診。現在、歩行障害・耳鳴りを発症。トイレや歩行など身の回りの事は自立している。本人は病気を受け入れることが出来ずに身体症状を訴え続けています。

妻は自分が居なくても日中過ごせるようになって欲しい、以前のように前向きに趣味に取り組んでほしいと思っています。

在宅療養の中で、関係者はどのような支援が出来るのでしょうか。

事例検討会参加いただいた方からのご意見

多職種の方と
顔が見え情報
交換ができた

目指す姿の
ために連携で
きるといいな

アプローチ法など
いろいろな考えを
知ることが出来た

◆運営委員◆

ライフ薬局 千葉只博

居宅支援事業所スローライフ 上田美峠里

居宅介護支援事業所つぼみ 飯塚郁代

介護支援センターフラワー伊那 小平京子

連絡・お問い合わせ

箕輪町地域包括支援センター 担当 鈴木・北澤

電話：70-6622 Fax：70-6699